

7月28日(木)発行

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

ほぼ  
**日刊サマーミュージック** **朝刊**  
Hobo Nikkan Summer Muza



**音楽から踊りが生まれ、  
踊りから音楽が生まれる**

©N.Ikegami

7/26 洗足学園音楽大学 目と耳で楽しむ！ラヴェルのバレエ傑作選

**お客様から**

狭い舞台で、全員、最高度の緊張と集中力を発揮して、肉体芸術の極致を見せていただいた。出演者の皆さんありがとう。いつまでも舞台上に立ち続けてください。(70代・ミルダケ)／毎年来ていますが、熱の入った指揮、演奏、バレエと融合して感動しました。コロナで十分な練習ができない中、努力が感じられ、エネルギーをもらいました。(40代・プーさん)／クラシックで一番好きな作曲家のラヴェルの音楽をオーケストラ&バレエで聴くことができて感無量ですね。オーケストラでもバレエでも「芸術」は「時空を超えるもの」だと改めて感じさせてくれて、まるでラヴェルが生きた時代を体感したかのようでした。(40代・ドラムプレイヤー・らむ〜ど)／背中からバレエが見られる一年に一度の好機を七夕と並んで楽しみにしておりました。今年も期待にたがぬ素敵な夜でした。(？代)／オーケストラとバレエの融合にとっても感動しました。初めて見させていただいて、主役がバレエでありながらもそれぞれ主張しすぎずにオーケストラの奏でるハーモニーが聴こえてきて感動しました。(10代)／本日も初めてオーケストラを左上から見下ろす形で見ました!!いつも正面からが多かったので、動きが別物と感じました。音の響きも違う感じでした。(60代・会社員・たーさん)

ラヴェルのバレエ音楽は、オーケストラの人気曲として演奏会で頻りに取り上げられるが、バレエ付きで鑑賞する機会はそう多くないだろう。『目と耳で楽しむ！ラヴェルのバレエ傑作選』は、そうしたラヴェルのバレエ音楽を舞台芸術としてあらためて楽しんでみようというコンセプトの公演である。プログラムは《マ・メール・ロワ》(組曲版)《ラ・ヴァルス》《ボレロ》《ダフニスとクロエ》(第2組曲)の4作品。巨匠・

秋山和慶が指揮する洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団をバックに、洗足学園音楽大学バレエコースの学生たちが舞った(谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団のメンバーも賛助出演)。

《マ・メール・ロワ》ではバレエとオーケストラがやや分離している印象を持ったが、《ラ・ヴァルス》と《ボレロ》ではダイナミックな舞踊とエネルギッシュな音楽が見事に調和して、ラヴェルの芸術を目と耳の両方で味わう時間となった。コンサートホールゆえに空間には限りがあるが、ダンサーたちの力強いパフォーマンスはそれを感じさせない。プログラム最後の《ダフニスとクロエ》はとりわけ完成度が高く、永山稀恵(クロエ)と本間響(ダフニス)の流れるような動き

からは、音楽から踊りが生まれ、同時に踊りから音楽が生まれていくかのような感覚を覚えた。そして本公演でなにより輝いていたのはオーケストラである。秋山の巧みなコントロールのもと、ラヴェルの緻密なスコアのテクスチャや温度の変化まで丁寧に描き出した洗足学園ニューフィルハーモニック管には大きな拍手を贈りたい。

(音楽評論 八木宏之)



《マ・メール・ロワ》より



オーケストラとマエストロ秋山和慶

**配信控え室から**



サマーミュージックは配信も充実！  
見どころ・聴きどころや  
配信の現場の声をお届けします。

**上記レビュー公演のアーカイブ配信は  
7/28(木) 正午から開始♪**

【出演】指揮：秋山和慶 (洗足学園音楽大学 芸術監督)  
バレエ：洗足学園音楽大学バレエコース、谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、牧阿佐美バレエ団  
管弦楽：洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

**【配信限定コンテンツ】**

- ・オープニングインタビュー：「マ・メール・ロワ」出演 竹内和 (バレエコース4年) / 「ラ・ヴァルス」出演 大黒秀香 (バレエコース4年)
- ・休憩時インタビュー：「ボレロ」出演 辻歩佳 (バレエコース4年) / 「ダフニスとクロエ」出演 本間響 (バレエコース4年)



バレエは手足を切らないのが基本中の基本なのですが、今回はダンサーの表情を捉えるため敢えてアップの映像を入れています。また、コールド(群舞)の場面も、本来は全体を写すのですが、細かい振付も見てもらえるように寄って撮っています。配信ならではの見どころです。(From ディレクター)





# マエストロ川瀬が贈るフレンチ・プログラム!

クラシック界を牽引する若きマエストロのひとり・川瀬賢太郎が、2014年以来8年ぶりに名曲全集に登場!

川瀬は大学在学中の2006年に、東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最高位)に入賞し、注目を集めた。近年は、国内の主要オーケストラに多数出演、多くの重要ポストを担っており、2023年4月からは名古屋フィルの第6代音楽監督に就任することが決まった。卓越したプログラミン

グと、躍動感あふれる演奏が注目を集めている。

そんな川瀬が、11月のミュージックでは初期ロマン派音楽を代表するベルリオーズの傑作「幻想交響曲」を披露。2019年ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールの覇者、三浦謙司も登場する。さらなる活躍が注目される若手ピアニストの一人だ。国内外のオーケストラと共演を重ねるなど、今後の国際的な活動も期待されている三浦が、ラヴェル晩年の傑作「ピアノ協奏曲」をお届け。

次世代を担う若き2人の熱演を、どうぞお楽しみに!



©Yashinori Kurosawa

川瀬賢太郎



©Jeremy Knowles

三浦謙司



2019年サマーミュージックの公演から

ミュージックナカシマホール&東京交響楽団  
名曲全集 第181回 11月12日(土) 14:00 開演

【出演】指揮:川瀬賢太郎 ピアノ:三浦謙司

【曲目】ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」

ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調

ベルリオーズ:幻想交響曲

【チケット】S席 6,000円 A席 5,000円 B席 4,000円 C席 3,000円

当日学生券 1,000円 (25歳以下、要学生証)

「名曲全集」シリーズ  
9~3月公演  
各公演好評発売中

セット券がお得!

11月~3月の5公演はお得な「後期セット券」を発売中です。もちろん1回券でもお求めいただけます。



パートナーショップのご紹介  
エンジョイ!  
川崎!!  
Enjoy Kawasaki

## 夏バテを辛ウマでふきとばそう!

アゼリア地下の韓国料理「コリアンキッチンシジャン」へ。あれもこれも食べたい欲張りさんにぴったりな、お得なセットメニューも充実していました。食いしん坊な私は迷わずセットメニューを注文!

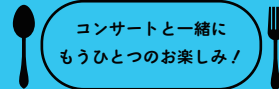


チーズタッカルビ石焼ピビンバとミニ冷麺(税込:1,420円)をいただきました。ピビンバはチーズタッカルビの程よい辛さが食欲をそそり、大変美味しく

いただきました。ミニ冷麺はお酢をかけてさっぱりつると、暑い日にはぴったりな一品。パートナーショップクーポンを使って、美と健康に良いごちそうもいただけて大満足でした。

コンサートの前後にぜひ、夏バテ撃退!スタミナ満点の韓国料理はいかががでしょうか。(た)

H アゼリア地下 コリアンキッチンシジャン  
PARTNER SHOP 特典  
ワンドリンクサービス※クーポン持参者のみ



PARTNER SHOP



掲載店一覧はこちら



↑サービス対象店舗はこのPOPが目印!  
スマホからクーポン券を提示するだけ!  
クーポン券は7/23~8/11まで  
何度でも利用できます。  
公演がない日でももちろんOK!

フェスタサマーミュージック公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#フェスタサマーミュージック  
#夏ジャン  
で検索 & 投稿  
お待ちしております!



Twitter: @summer\_muza  
Facebook: @kawasaki.sym.hall  
Instagram: @muzakawasaki

「コロナの影響で、出来なくなったサービスも「生まれたサービス」もありましたが、私たちレセプションニストは変わらず、お客様・出演者の皆様にとって最適な環境をご提供出来るよう、トレードマークであるブルーのポロシャツを着て、今年もフェスタを駆け抜けます!  
(レセプションニスト)

日刊サマーミュージック  
Hobo Nikkan Summer Muza

突然ですが、皆様に『推し』はいらっしゃいますか?  
私は『推し』がいる事で日々の生活が潤い、活力が生まれます。今年のフェスタサマーミュージックにも沢山の皆様が出演されますが、皆様が公演を選ばれる時も指揮者・ソリスト・オーケストラ目当てで選ばれる事も多いのではないのでしょうか。お気に入り・楽しみな公演は見つかりましたか? フェスタサマーミュージックで『推し』の魅力の再発見や『新しい』『推し』の発掘をして頂き、是非、皆様の『推し』を教えてください。『推し』と過ごすフェスタサマーミュージックが皆様の夏の思い出に彩りを添える事が出来ると嬉しいですね。

スタツフ日誌